

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 III V 】
2 実施対象者	学校名 千葉県立桜が丘特別支援学校 対象 全児童生徒 人数 169名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（特別活動） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツ、生涯スポーツを通して仲間と共に身体を動かすことへの親しみや楽しさを感じながら興味関心を高める。 ・地域や他校との交流の中で互いに支え合い、互いを尊重し合える心の育成につなげる。
5 取組内容	<p>○小学部は桜木小学校の児童と、Tスローやボッチャ(児童の実態に応じてルールを変更)での交流の取組。</p> <p>○中学部は加曽利中学校の生徒と、ボッチャでの交流の取組。</p> <p>○高等部は市原八幡高等学校の生徒と、ポリバットピンポンでの交流学习の取組。</p> <p><事前> ルールや道具・用具の使い方、また自己紹介の練習などの学習を行った。実際に道具を使用しながら、使い方に慣れたり、先生と一緒にやりやすいやり方を見つれたり、仲間同士で声をかけ合ったりしながら交流学习当日に向けてクラスや学年での学習を進めた。</p> <p><当日> 小学部はクラスごとに、中学部は学年ごとに、高等部は課程を中心にそれぞれの活動で交流を行った。</p>



	<p><事後></p> <p>相手校の児童生徒には、交流後の時間を使って感想を聞く時間を設定している。また、本校の児童生徒からも感想を聞いている。交流で取り組んだ活動は、繰り返し取り組みながら慣れてたり上達したりすることで興味を広げることにつなげている。また、かかわりという面では、色々な人（交流では同年代）と接することで、お互いの気持ちを知ろう、理解しようとするなどの対人関係の広がりにつなげるようにしている。</p>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の有無に関わらず、同じ活動を通して同年代の仲間とかかわることで、互いに声をかけ合ったり、緊張した表情が解け、笑顔が多く見られたりしていた。 ・交流が終わると、また会いたいや、次回は楽しみなどの感想を聞くことができた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに取り組みやすい活動内容の設定を心がけた。 ・ルールに関しては、児童生徒の実態に応じて、わかりやすい、一人一人の力を発揮しやすいようにオリジナルのルールを設定した活動にする。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・相手校があるため、日程調整が必要。 ・活動内容においては、当日お互いが楽しめるように事前の情報交換、共有を行っておく。 ・校内での活動場所や使用用具の調整が必要。 ・児童生徒の実態の幅が広いとため、安全に安心して交流するためにも、職員間での確認、調整が欠かせない。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度と同様、計画していく。